



食道

FOLFOX

催吐リスク: 3

適応疾患: 緩和的治療対象となる遠隔転移を有するもしくは再発食道癌

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m ²	d1
フルオロウラシル(45時間持続)	2400 mg/m ²	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m ²	d1
レボホリナート	200 mg/m ²	d1

FOLFOX+RT

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 2週1コース(6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m ²	d1
フルオロウラシル(46時間持続)	1600 mg/m ²	d1～
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m ²	d1
レボホリナート	200 mg/m ²	d1

オブジーボ(2週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	240 mg/body	d1

シスプラチン+フルオロウラシル+チスレリズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
デビムブラ	200 mg	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

シスプラチン+フルオロウラシル+ニボルマブ(2週毎)

催吐リスク: 4

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	240 mg/body	d1、15
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

シスプラチン+フルオロウラシル+ニボルマブ(4週毎)

催吐リスク: 4

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジーボ	480 mg/body	d1
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

シスプラチン+フルオロウラシル+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース(6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

チスレリズマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
デビムブラ	200 mg	d1

ドセタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ドセタキセル	70 mg/m ²	d1

ニボルマブ(2週毎)+イピリムマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジーボ	240 mg/body	d1、15、29
ヤーボイ	1 mg/kg	d1

ニボルマブ(3週毎)+イピリムマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジーボ	360 mg/body	d1、22
ヤーボイ	1 mg/kg	d1

ニボルマブ(4週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オプジーボ	480 mg/body	d1

パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 8週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パクリタキセル	100 mg/m ²	d1、8、15、22、29、36

フルオロウラシル(700)+シスプラチン(70)+放射線治療

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 4週1コース (2コース施行)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	70 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	700 mg/m ²	d1～4

フルオロウラシル(800)+シスプラチン(80)

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(CRT後・術後の補助療法 or 再発・転移)

投与スケジュール: 4週1コース《CRT後・術後の補助療法＝2コース、再発・転移＝有効時は継続》

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

フルオロウラシル+ドセタキセル+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発、術前補助)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	70 mg/m ²	d1
ドセタキセル	70 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	700 mg/m ²	d1～5

フルオロウラシル+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース(29コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

フルオロウラシル＋分割ドセタキセル＋シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
ドセタキセル	30 mg/m ²	d1、15
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1～5

ペムブロリズマブ(3週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発の食道癌(CPS≧10%かつ扁平上皮癌)

投与スケジュール: 3週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1

ペムブロリズマブ(6週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発の食道癌(CPS≧10%かつ扁平上皮癌)

投与スケジュール: 6週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	400 mg	d1

推奨投与量の単位

mg/m²:【体表面積】あたりの量 mg/kg:【体重】あたりの量
AUC:カルバートの式により算出 ⇒ 投与量(mg/body)=AUC目標値 × (GFR+25)

略語の意味

NSCLC: 非小細胞肺がん
SCLC: 小細胞肺がん
PD: 病勢進行